

第5回伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会 会議録

開催日	平成29年10月13日(金)			
開催時間	開 会	午後1時30分	閉 会	午後3時
開催場所	市役所 多目的ホール			
委員出席者	伊那市区長会 箕輪町区長会 南箕輪村 伊那商工会議所 箕輪町商工会 上伊那森林組合 伊那バス株式会社 ジェイアールバス関東株式会社 中央道支店 有限会社 白川タクシー 長野県宅地建物取引業協会 南信支部 伊那市保育園保護者会 上伊那PTA連合会	小林 建正 金澤 芳雄 高見 利夫 矢野 昌史 小河 節郎 原 武志 福澤 信義 名和 進 白川 光朗 北原 由基雄 金子 靖子 伊藤 透		
欠席者	伊那中央行政組合 伊那市社会福祉協議会 南箕輪村商工会 上伊那農業協同組合 伊那市観光協会 伊那市ふるさとメッセンジャー 信州大学 公募	宮原 文彰 矢澤 秀樹 中川 博夫 鳥原 秀夫 中村 忠人 高沖 清乃 鈴木 純 杉山 祐樹		
委員以外の出席者	上伊那地域振興局企画振興課長	池内 武久		
出席した事務局職員	伊那市企画部長 伊那市企画部地域創造課長 箕輪町企画振興課みのわの魅力発信室長兼政策調整担当課長 南箕輪村地域づくり推進課長 伊那市企画部地域創造課課長補佐 伊那市企画部地域創造課人口増推進係長 伊那市企画部企画政策課企画政策・リニア推進係長 箕輪町企画振興課まちづくり政策係長 南箕輪村地域づくり推進課企画係長 南箕輪村地域づくり推進課企画係	飯島 智 宮原 貴敏 今井 政文 田中 俊彦 小川 貴 伊藤 透 福澤 誠 鈴木 清次 山口 弘一郎 北原 康裕		

議 事	(1) 伊那地域定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について (2) その他
配布資料	資料1 定住自立圏構想の推進 資料2 伊那地域定住自立圏構想について 資料3 伊那地域定住自立圏共生ビジョン協議会条例 資料4 伊那地域定住自立圏 経過 資料5 伊那地域定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について 資料6 病児・病後児保育施設整備について 資料7 定住自立圏構想に係る路線バス運行状況について

1 開 会

2 自己紹介

3 伊那地域定住自立圏構想について

資料1～4により説明

4 正副会長の選出

委員互選により以下のとおり選出

- ・会 長：小林 建正 委員（伊那市区長会 会長）
- ・副会長：金澤 芳雄 委員（箕輪町区長会 会長）
高見 利夫 委員（南箕輪村区長会 会長）

5 会議事項（進行：小林会長）

（1）伊那地域定住自立圏共生ビジョンの進捗状況について

会 長： 事務局から説明をお願いします。

事務局： （資料5～7により説明）

会 長： 説明内容について、ご意見、ご質問等がありますか。

委 員： 3市町村が連携した取組は、地域住民の皆さんにとって大変有り難い。取組の中で成果を上げてきている事業については、さらに工夫をして利用者等が増えるように取り組んでいただきたい。

また、これまで限られた財源の中で、事業を展開されてきたと思うが、今後、他の事業を追加していくことは可能なのか。

事務局： 定住自立圏の取組については、市町村が単独で実施するよりも、3市町村が連携して実施する方が効率的で効果の上がる事業に絞って実施するべきと考えている。

また、事業実施にあたっては、国からの財政措置があり、中心市と町村は別枠で措置率・上限額が設定されているが、町村は中心市に比べて措置率は高いものの、上限額が1,500万円と低く設定されているなど、財源が限られている状況にある。

今後の事業展開については、優先順位やご意見等を踏まえて、3市町村の首長で構成する連絡協議会の中で検討していく。

委 員： 地域公共交通の路線バスの試験運行については、利用促進に向けて、ノウハウを持っている交通事業者の皆さんと一緒に課題を精査し、見直しを行うことが必要である。今後、利用者は増えていくと思うので、試験運行から本格運行に結びつけていける

ように取り組んでいただきたい。

事務局：伊那本線の路線バスについては、高校生の通学利用を想定したダイヤを組んだが、朝夕便の利用が低調であったため、沿線の高校生を中心に試乗券を配付するなど、利用促進を図ってきた。

しかしながら、運行ルートがJR飯田線と並行しているということもあり、伊那中央病院等の利便性の高い停留所の乗降者数は多いものの、全体の利用者は低調となっている。来年度の運行については、1年間の利用実績等のデータを分析し、運行時間等を見直していく。

委員：空き家バンクの登録物件は増えてきているが、賃貸物件のニーズに対して、貸したい人は少なく、登録物件は売買の方が多くある状況にある。

また、子育て世代の移住希望者にとっては、学校までの距離や仕事などの条件が合わないと、移住には結びつかないことから、空き家バンクホームページのアクセス数が多くても、なかなか成約には至らない状況にある。

事務局：引き続き、空き家バンクの登録・成約の促進に向けて、関係団体と連携しながら進めていく。

委員：子育て環境の充実については、病児・病後児保育だけでなく、土曜保育や学童保育における環境整備もお願いしたい。

事務局：ご提言いただいた内容については、各担当課に伝え、子育て施策の参考とさせていただきます。

委員：地域公共交通については、中心部だけでなく、空き家が多い周辺部においても路線バス等の公共交通を確保していかないと移住定住には繋がらないと思う。

まだ交通の不便な地域もあることから、周辺部にも目を向けた交通施策の検討が必要ではないか。

事務局：中山間地域の課題に対しては、ボランティアなどのマンパワーや地域等で解決できることもあるが、伊那市ではIoTなどの新産業技術を活用して、中山間地域において物流や人の移動等の実証を始めている。

地域公共交通については、利便性を上げていくことも必要であるが、地方創生の人口減少の中、課題を解決していくには、利便性だけではなく、地域の関わり等も含めて手法を今後検討していく。

委員：地域公共交通については、利用実績に加えて、利用者へのアンケート調査等により、利用されない理由や必要性などの更なる分析も必要である。また、地域住民の利便性を高めるために、費用対効果や住民の想いも踏まえて、地域公共交通のあり方についても検証していく必要がある。

事務局：今後、利用実績等の分析や先進自治体の取組なども調査しながら、総合的に検討していく。

(2) その他

特になし

6 その他

オブザーバー：地域公共交通については、利用者の視点に立って検討していくことが必要で

ある。また、地域公共交通は乗って残していく取組が大事であることから、まず路線バスを知ってもらい、乗ってもらう機会を増やしていくことも必要である。

空き家バンクについては、利用者とのマッチングの問題でもあるので、専門知識のある方と蜜に意見交換をしながら、進めていただきたい。

事務局： 本日のご意見、ご提言については、3市町村の各担当課に伝え、今後の施策等の参考にさせていただくとともに、事業実施後においては、効果検証の結果を報告させていただく予定でいる。

また、本日の会議録及び配付資料は、市の公式ホームページに掲載させていただく。

7 閉 会

金澤副会長より閉会が宣言される。